

上野学長挨拶

首都大学東京学長の上野でございます。

本日は、急遽の開催にもかかわらず説明会にお運びくださり、誠にありがとうございます。8月24日、金曜日に発表した、本学の名称変更のことについて、私から述べさせていただきます。

「首都大学東京」は、大学名を2020年4月から「東京都立大学」に変更するための手続きに入ることが決定されました。

ここまでの経緯を簡単に説明します。去る7月12日、東京都都政改革本部会議における小池都知事の発言を受け、本学を設置する法人本部において検討を開始しました。経営審議会における議論を経て、8月24日に名称変更することを、法人の方針として決定し、同日、島田理事長が小池都知事に報告をしたところです。本学のほか、「産業技術大学院大学」は都立を付けて「東京都立産業技術大学院大学」に、法人名も「東京都公立大学法人」に変更されます。この後、東京都議会の承認や文科省への届出など必要な手続きを進めていくことになります。

大学名称の変更は全ての大学構成員にとって重要な問題です。本学としては、知事発言の内容について、学生諸君にはホームページを通じて、教職員にはメールを通じて、速やかにお知らせをしました。その後、大学構成員の意見を議論の場に反映させるため、学生、教員からは、私自ら直接意見を聞く場を持ちました。学生諸君とは、8月17日に学生団体の代表者とミーティングを持ち、率直な御意見や御要望を伺いました。夏季休暇中にもかかわらず、彼らは非常に努力をしてくれ、多くの学生意見を募るためアンケート調査を実施してくれました。その際、時間がなく本学の学生全員に問うことはできなかったとのことでしたが、工夫しながら相当数の意見を集め、それらを集約して伝えてくれました。

教員については、7月31日に臨時の教育研究審議会を開催し、部局長から部局内で寄せられた御意見などを伺いました。多くの部局が所属教員に広く意見を募っていただき、部局によっては意見交換を行っていただいたと承っています。

職員については、法人の総務部門がメールなどにより意見を聴取したと承知しています。

学生、教員それぞれ、多種多様な御意見がありましたが、全体の印象としては、「東京都立大学」に変更を望む傾向でした。

そして、いただいた御意見と御要望は、私の責任において、8月22日に開催された、経営審議会の場でできるだけ正確にお伝えしてきました。学生諸君からの御意見をお伝えしたところ、委員の多くが、学生諸君の行動力と、反応の良さに大変驚かれ、評価されていたことを合わせてお伝えします。わずかの時間にも関わらず、多く学生、教員から広く意見を募っていただいたこと、また、その問いかけに対し意見を寄せてくださったことに、あらためて感謝するとともに深い敬意を表します。

「首都大学東京」は、2005年4月、都立の4つの大学「東京都立大学」「東京都立科学技術大学」「東京都立保健科学大学」「東京都立短期大学」を統合して発足した大学です。そして、この間に約25,000名の卒業生、修了生を輩出し、現在も約9,000名の学部生、院

生を擁しています。新たな大学として、全ての大学構成員が心を合わせ、教育、研究、社会貢献そして国際化など、様々な領域において改革的な努力を重ね、着実に発展を遂げてきました。その結果、幅広い学問分野を持つ総合大学として、それぞれの学問分野における研究と、質の高い教育の好循環が、本学の優れた特質として高く評価されています。

在学生、卒業生・修了生、教職員の皆さんには、「首都大学東京」を築き上げてきていただいた中で、様々な思いと確固たる実績があると考えています。当然、皆さんが築いてきた「首都大学東京」の輝かしい実績、その歴史は決してなくなるものではありません。学長として、その思いをしっかりと受け止めるとともに、実績を築いてきた皆さんに、心より敬意を表します。

あらためてお伝えしますが、この名称変更は、東京都立大学に戻るものではありません。新生大学として着実に発展してきた本学が、これまでの実績のもと、新たな「東京都立大学」として飛躍していくものです。技術革新と産業構造の変化、グローバル化によって、社会構造が大きく変化する中、高等教育機関に求められる役割は益々大きなものになりつつあります。このようなタイミングで、東京都が設置したことが明確になる「東京都立大学」への変更は、本学が更なる発展を遂げる機会ともなり得ると前向きに捉えております。大学の本分である教育・研究力に一層の磨きをかけることはもとより、その成果をこれまで以上に、東京都のシンクタンクとして東京都へ還元するなど、世界有数の大都市である東京都が設置する唯一の総合大学として、更なるプレゼンスの向上に取り組んでまいります。

また、在学生や卒業生・修了生へのケアを最優先に対処し、「東京都立大学」へ円滑に名称変更するための準備に万全を期したいと考えています。皆さんの意見に耳を傾けながら、学長として責任を持って、学内をまとめていく所存です。これまで皆さんが築いてきた「首都大学東京」の輝かしい実績のもと、より一層飛躍させるため、新たな「東京都立大学」の将来像を皆さんと一緒に描いていきたいと思っています。

本日の説明会では、多くの御意見、御質問を承れればと思っています。具体的なことは、これから検討を始めるところであり、今後の参考にさせていただきたいと考えています。円滑に名称変更を進めるためにも、御協力をよろしくお願いします。